

熊本地震への支援活動

届け、みんなの思い。熊本へ。

●保健師派遣

熊本地震被災地へ市の保健師、<sup>おおわき ちか</sup>大脇千佳さんが派遣され、5月13日から16日までの活動期間が終了し、牛久市に戻りました。派遣先は熊本県菊池郡大津町。現地では避難所での健康管理や在宅避難者への家庭訪問活動に携わりました。大脇さんは「震災から1カ月経過し、心のケアもより重要になっていました。皆さんの不安を少しでも軽減できるよう



心掛けて活動しました」と、被災地での活動の報告をしました。

出発前に根本市長より激励を受ける大脇さん

●音楽で支援

5月11日、市内在住のリカルド・<sup>いたばし はなこ</sup>カリアさんと板橋華子さん夫妻が来庁し、5月7日に行われた熊本地震のチャリティコンサートで集まった義援金40万9,428円を届けました。リカルドさんは「大変な思いをしている被災者を思い、たくさんの方が集まってくれた。音楽で人とつながり、気持ちを共有できた」と話してくれました。



1 当日は約270人の聴衆が訪れ素敵な音色に聞き入りました

●子どもたちからの支援

5月13日、牛久小学校の児童と牛久第二中学校の生徒が義援金を根本市長に届けました。義援金は、牛久小学校で8万7,894円、牛久第二中学校で5万4,602円集まりました。牛久小学校6年栗原風聖さんは「義援金箱には僕たちの思いが詰まっています。がんばってください」と話し、また、牛久第二中学校の<sup>なかやま さき</sup>中山紗希さんは「牛久二中は小さな学校で小さな力だけ熊本県の人たちに何かできないかと考えました」と、それぞれ熊本県への思いを話してくれました。



1

2

- 1 牛久小はボランティア委員会を中心に活動
- 2 牛久二中の生徒はくまもんの義援金箱を手作りしました

●筑波ジャンボリーゴルフから

5月20日、筑波ジャンボリーゴルフの<sup>わたべともひと</sup>渡部智仁所長が来庁し、集まった義援金5万円を届けました。この義援金は、2016筑波JG春の親睦ゴルフコンペにおいて寄せられたものです。



渡部所長は、「ゴルフを通じて出来ることを今後も行っていきたい」と話していました

市制施行30周年記念 第15回「こどもとしょかんまつり」

子どもたちの読書活動に

5月7日に「第15回こどもとしょかんまつり」が開催されました。今年度は市制施行30周年という節目の年で、子どもたちの郷土への興味関心を育てること、科学や科学の本に対する興味を育てることを目的に実施されました。当日は、「うしくについてもっと知ろう」と題し、うしくのことがよくわかる年表や本の展示のコーナー、科学読み物研究会会員の坂口美佳子先生による「科学あそび

と科学の本を楽しもう！」と題したイベント等が開催されました。牛久市公式キャラクターラッシュも登場し、イベントを盛り上げました。



坂口先生によるイベントの様子。たくさん家族連れが参加し、大盛況でした

## 大空を舞う、子どもたちの願い



1

5月3日、「第27回うしく・鯉まつり」が市役所近隣公園と市役所敷地内で開催されました。この日、上空には青空が広がり、鯉のぼりが元気に泳いでいました。会場では、魚のつかみ取りや竹ぼっくりレースが催され、子どもたちの元気な声が響き渡りました。



3



2

- 1 「魚のつかみ取り」コーナー。「魚を捕まえるぞ!」の子どもたちの声と応援する親の声でにぎわいました
- 2 「おくのがまガール」の口上も会場を魅了しました
- 3 結成1周年を迎えた「ノノキス」の公演

## 牛久一中にゆるキャラ登場

### イベントを盛り上げます!

牛久第一中学校でゆるキャラが3体、誕生しました。牛をモチーフとしたものでその名も「いちろう、いちか、いちの」。牛久第一中学校の「一」を取り、名付けました。生徒会の生徒が中心となりデザインのアイデアを募集。

幼稚園、保育園、小学校との連携、地域との連携の充実を目的に、各イベントがより一層楽しいものとなるように思いを込めて教職員と生徒たちが手作りで作成しました。

これまでに自校や小学校の入学式に参加したり、高齢者福祉施設への訪問を行いました。今後はうしくかつば祭りや、地域と連携した様々なイベントに参加する予定です。



▲左から「いちか」、「いちろう」、「いちの」

## 科学技術分野の文部科学大臣賞

### 創意工夫育成功労学校賞受賞

下根中学校が平成28年度科学技術分野の文部科学大臣表彰の創意工夫育成功労学校賞を受賞しました。この賞は、児童・生徒の創意工夫の育成に顕著な成果をあげた小・中学校が対象となり、同校生徒の自由研究や発明工夫、理科の授業での取り組み、科学部の活動に対して贈られました。



受章の報告をする岩田博校長

## 中根小で田植え体験

### 豊作を願って

5月18日、中根小学校の3年生が授業の一環で田植えを行いました。植えたのはもち米の苗。スクールボランティアや保護者の協力を得て無事田植えは終了。今後は、秋に稲刈りをし、餅つきをして食べる予定です。

晴天に恵まれたこの日、子どもたちは泥だらけになりながら豊作を願い、一株ずつ丁寧に植えました。





## 委員の委嘱式を実施

4月28日、「牛久市情報公開・個人情報保護審査会委員委嘱式」が行われ、このたび、初の女性委員が委嘱されました。今期の委員は次のとおりです。



(写真前列左から)

会長：星野 豊 氏(再任)、根本市長、副会長：久吉一生氏(再任)、村上正子氏(新任)、宮本芳孝氏(再任)、石田 努 氏(再任)、宮本 弘 氏(再任)

## 寄 付

温かい善意ありがとうございます

### ●牛久市奨学基金へ寄付

市内在住の書道家稲葉松翠さんから5月11日、牛久市奨学基金に300万円を寄付いただきました。この寄付金は自身の個展を開催した際の売上金全額です。稲葉さんは、「家庭が経済的に苦しい生徒が多くなっているの、子どもたちの進学に少しでも役立てていただければ」と話していました。



### ●市の教育、文化芸術へ寄付

4月25日、木材の再処理や木材チップ製造などを行っている(有)イーパック牛久(代表取締役新妻章弘氏)より、市に100万円を寄付していただきました。この寄付は、教育や文化芸術に関する事業に使われます。新妻氏は「子どもたちや芸術の発展に役立てていただければ」と話していました。



## 牛久運動公園野球場で各種イベント開催

### リニューアルオープン記念イベントを開催

#### ●プロ野球イースタンリーグ

4月24日、牛久市制施行30周年記念プロ野球イースタンリーグ公式戦in牛久2016が牛久運動公園にて行われ、千葉ロッテマリーンズと横浜DeNAベイスターズが熱戦を繰り広げました。始球式は根本市長が行いました。

試合終了後には、サイン会、野球少年参加のベースランニング、選手による熊本地震の募金活動が行われました。



#### ●無料開放イベント

5月5日、牛久運動公園野球場リニューアルオープンに伴い、市民の方に野球場を無料開放しました。スピードガンコンテストとストラックアウトが開催され、参加者の中には「将来の夢は野球選手になりたいです」と話す小学生もいました。

外野芝生ではお弁当を食べる家族連れもおり、晴天に恵まれた一日を満喫していました。



## 牛久市交通少年団長任命式

### 交通安全活動に従事

4月25日、牛久市交通少年団長の任命式が行われ、入江偉人氏が任命されました。入江さんはこれまでに17年間、交通安全活動に従事しています。交通少年団は市内の全小学校5・6年生からなり、交通安全に関する意識や知識の向上、奉仕と協力・融和の精神を養うことを目的に活動しています。夏季には交通安全ポスターコンクールや標語作品のコンクールを行っています。

